

マルセイニュース 1月号

発行日 2016/1/22

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 TEL0146-22-5123



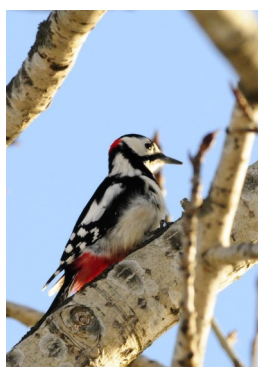
輝く
浦河に！

2016年 今年も良い年にしましょう！

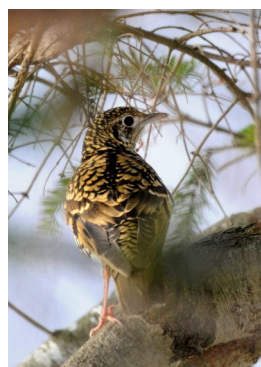
お正月から穏やかな天気恵まれて、新しい年が始まりました。1月10日、浦河町総合文化会館での成人式には109人の新成人が華やかな晴れ着姿で出席。新成人の皆さま、ご成人おめでとうございます。新成人はもちろん、皆さまにとって今年も良い一年でありますように！



クマゲラ



アカゲラ



トラツグミ



シマエナガ



ヤマゲラ



豊かな自然も楽しみましょう

大きな地震のあった日の早朝には、町内のあちらこちらで『雪まくり』という珍しい現象が見られました。初めて知りました。大寒を迎えるこれからの時期は、浦河港で『運氷』を見るチャンスもあります。

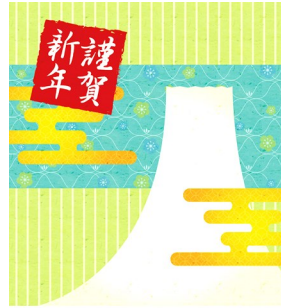
日々の暮らしの中で、豊かな自然も楽しみたいです。

浦河は野鳥の種類が多いことはご存知でしたか？様々な鳥に、身近な所で出会うチャンスに恵まれている地域だということですよ。

昭和ひと桁世代の方の子どもの頃の懐かしい遊びのひとつに、『鳥獲り』があったそうです。今度、詳しくお聞きしてご紹介させていただきます。と思っています。



クロスワードパズルを解いている氣田くん。顔出して遊ぶマックス



新年、良い一年にしましょう！



楽しそうに作成中のばわふる。元旦から経営計画を練る社長たち



イラスト提供
「webサイト赤ずきんちゃんの散歩道」

今年もよろしくお願ひいたします！

新年明けましておめでとうございます。日頃のご利用とご支援に心からお礼申し上げます。
今年も地道にとり組んでいく所存ですので、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

一方で、原油価格の急落にも関わらず風力や太陽光に代表される再生可能エネルギーへの投資額やその発電量は、一年前と較べても大幅な伸びとなっています。

これからの時代の エネルギーの行方：

原油価格の下落が止まりません。この先イランの経済制裁が解除されればさらに供給過剰となり、価格を押し下げると言われています。いったいこの間までの原油高は何だったのかと思われる変わり様です。もともと、1リットル60円の灯油が倍の120円になったところで我々のような小売店の利益が倍になるわけはありませんから、低価格安定が私たちとしても望ましく、今くらいがちょうどよいところかもしれません。

止まらない 原油価格の下落！



この流れは止まらないでしょうし、これからの世代のことを考えると、技術を高め再生可能エネルギーの比率を上げていくことは大事なことです。
その上で、我々一般家庭向けのエネルギーを販売している仕事ってどうなっていくのかなと、いつも考えます。残念ながらわたしはポンヤリと考えるだけなので、ボンヤリとしか答えが見えてきませんが。

むかし、こんなことを聞きました。明治になつて日本人も靴を履くようになりました。けれど下駄を売っていたお店は靴を売らなかつたため、新たに靴屋がたくさん出来て下駄屋さんは無くなつていったのだそうです。下駄屋さんも自分を「履き物屋」ととらえれば靴を売れたのに、そうはしないお店が多かつたというのです。

変化を良く見ながら

史実に則った話かどうか調べたことはありませんが、燃料販売にも当てはまるエピソードと思い記憶に残りました。変えてはいけなものは守りつつ、世の中をよく見て変えるべきところは変えていかなければならないのは、どんな業種にも言えます。そのことを忘れずに今年も仲間と仕事に取り組んでいこうと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

社長



1月14日(木) 浦河沖震源 マグニチュード6.7

震度5弱の地震発生！ガスは？ストーブは？

久しぶりの大きな地震に驚きました。先ずはラジオで津波の心配がないことを確認。すぐにみんなで手分けしてお客様のお宅を点検して回りました。

営業中の事業所さん、集合団地のご家庭で『耐震装置』が働いたり、オイルサーバーが動かなくなつてストーブや給湯ボイラーが使えなくなつていました。そうです。寒い中、暖房を止めてしまうことがあるので冬季に発生する地震はより緊張します。

この日の地震は夜間ではなく日中だったので、点検して歩くのにも助かりました。大きな被害が無くて何よりでしたが、それでもこの地震による影響の対応には、その後も2日ほどかかりました。連絡の取り方や防災グッズの点検など、緊急時の備えを再チェックしておきましょう。



新春マルセイお年玉クロスワードパズル

「お年玉灯油」をプレゼント！

★灯油100ℓが2名様に当たります



パズルを解いてご応募下さい！

1ア		イ	Aウ		エ		オ
		2			3	Eカ	
4	キ			5ク			
	6		F			7	
8ケ				9	コ		
10			サ		C11		シ
			12				
13	B				14		D



2016年1月12日(火)

(株)マルセイ エアジくん撮影

答 マルセイの新ローリー

A B C D E F

◆ ヨコのカギ

- 1、化学式 B2 O3 とは？
- 2、実が米、水田で栽培するもの
- 3、大きさや重さなど手に持つのにちょうどよい様
- 4、〇〇〇芸、〇〇〇味、〇〇〇絵
- 5、敬慕の的となる人物、英雄のことを
- 6、馬は理想のセラピスト！浦河〇〇〇〇療育ネットワーク誕生！
- 7、人の身の上に巡り来る人間の意志を超越したはたらき
- 8、古代中国で死者を埋葬する際に副葬された俑(よう)のうち、馬の形をかたどったもの、兵〇〇〇
- 9、一緒に物事をする間柄、同じ種類のもの、同類
- 10、陸・海・〇〇
- 11、直径の比較的大きな雄ねじ
- 12、〇〇〇桃山時代
- 13、昨年末の紅白歌合戦白組、司会はV6の〇〇〇〇快彦
- 14、いくら食べても太らない体質、〇〇〇大食い

◆ タテのカギ

- ア、文芸、芸術作品を作る人
イ、胸がすくむほど見事な勝ち方をする人
ウ、〇〇折り損のくたびれ儲け
エ、フランス語の「跳ぶ」、西洋料理の基本調理のひとつ
オ、無人の遠隔操作で飛行、英語で雄ハチを指す
カ、ルーティンポーズで有名になった日本ラグビー選手名
キ、京野菜のひとつ。やわらかくて美味しい〇〇〇〇ネギ
ク、お笑いタレント又吉直樹が書いた小説名
ケ、中国からの観光客が一度に大量買いすることを
コ、英語でパンプキン
サ、オーストラリア東部に生育、好物はユーカリの葉
シ、2006年に冬季オリンピックが開催されたイタリアの都市



● 応募方法

はがき・ファックス・メール いずれかでご応募ください。

- * ことえ
- * 郵便番号・住所
- * お名前
- * 電話番号

マルセイ及びマルセイニュースへのご意見・ご感想などをお書き添えいただけますと嬉しいです。

〒057-0005
浦河町東町
うしお1丁目9-3
(株)マルセイ

- 締切り 2月8日(月)
- 抽選日 2月10日(水)

* はがきは、当日消印有効 * ファックス・メールは8日まで必着

* 注意 電話番号とファックス番号は違います。

◆ marusei.gs@gmail.com

◆ ファックス 22-5789

住所・氏名・電話番号の記入はお忘れなく。

抽選で2名の方に、灯油100ℓが当たります。
当選者のお名前は、次号の135号で発表させていただきます！



町全体で共通意識を持って

「観光からの町づくり」にチャレンジしたい！

浦河町地域おこし協力隊 中川 貢

早いもので着任して約2年半が経ち、この3月で僕の任期は終わります。賑わいづくりとしてのカフェイベントや講演会など様々な活動をしてきましたが、中でも本筋として取り組んできたのは「観光」です。他町との広域連携事業や国内・国外旅行会社の視察アテンド、高校での授業、観光からの町づくりを考えるワーキングチームへの参加、ツアーやプログラムの造成、そしてガイドなどを通じ、観光に力を入れて来なかった地域のこれからの観光の可能性を探りながら進んできました。その中から見えてきたこと、感じたことなど、今の気持ちをまとめてみました。

取り組んできたツアーと各種プログラム

役場の方々や町内の皆さん、地元旅行会社、乗馬クラブスタッフなど沢山の方々に協力していただき、今までに18本のツアーや着地型プログラムを行いました。(ちなみにツアー代金の合計は現在約540万円です)



参加者合計は、現時点で131名。そのうち、リピーターの方が41名、リピーター率は31%。つまり、約3割の人がリピーター(繰り返し参加)という結果でした。

*リピーターの種類は次の通り

- ツアー参加→個人旅行で浦河へ把握しているだけで14名
中には3回もリピーターしている浦河ファンも
- ツアー参加→他のツアーを利用25名
- ツアー参加→体験移住に来た方6名
うち2名は来年度体験移住予定
- ツアー参加→本格的に移住した方3名+その家族

*ふるさと納税返礼品としてのワシ観光ツアーとAERU宿泊者向けワシ観光ツアーはカウントしていません。
*実施したほとんどのツアーが、正当な対価をいただいております。自治体がツアー代を負担する類のツアーではありません。

これまでの取り組みで、交流人口拡大への貢献と少しの経済効果をもたらしたことがわかりました。個人旅行するリピーターからの経済効果、口コミによるPR効果など見えない部分の貢献もあったはず。今の立場で、この土地のこの規模で実施した事業である為、他に比較できる事例は見つからないので、この数字を一つの結果と捉え、今後の観光振興に役立てていきたいと考えています。

観光とは

さて、何のために観光を進めるのか。観光という手段をつかって外貨を獲得することが一番の目的です。人々が町の資源を再認識し、誇りをもって暮らす人が増える、という効果も期待できます。つまり「うちの町は何もない」ではなく「うちの町はいいところだよ、遊びにおいで！」という人が増えることです。何も無い町なんて存在しません。その地域にしかないもの。例えば、それは人であり、食や歴史、文化、景観、自然。こういった地域資源が観光資源そのものです。実際にこの町に魅力を感じてリピーターしてくれる人がいるのは嬉しいことです。

外貨獲得と域内循環

ツアーの中に組み込んだプログラムの一つに魚さばき体験があります。地元魚屋さんに協力していただいて魚のさばき方を習い、さばいた魚を刺身丼としてみんなで食べるといふ人気のプログラムです。浦河の海産物の美味しさを喜んでもらえるのももちろんですが、ツアーで得た外貨も循環します。一般的に、観光は観光業者(ホテルやレストラン、ツアー会社など)しか儲からないというイメージがありますが、このプログラムによって獲得した外貨は、魚屋さん、市場、漁師さんへと循環しています。そして



もっと大事なことは、外貨を獲得した人が地域にお金を落とすこと。こうして2次的波及効果を生み出し、域内循環が進んでいきます。

愛着のある町で暮らしたい

人口が減り、消費も減り、経済が縮小していくこれからの時代は、地域内でお金を循環させて、それぞれが地域の経済を支えることが必要になってきます。自分だけが儲かればいいということではなく、町が生き残るために、個人も全体のことを考えていく時代ですね。普段の買い物時に少しでも地域への還元を考えれば、大きな額のキャッシュフローに繋がります。例えば一人100円×浦河の人口は？それが年間になると？すごい額になりそうですね。

最後に

この2年半の間、取り組みを続けてきて、まだまだ、観光分野の可能性はあると思えました。浦河だけでなく周りの町と連携し、魅力的な商品を作る。そのために必要な観光人材を育てること、そして町全体で観光に対する共通の意識を持つこと。まず、これらに力を入れることが大事だと僕は考えています。

浦河町地域おこし協力隊 中川 貢



「気軽に声を掛けて下さい」と青年海外協力隊北海道OB会の方々。中高生は大いに刺激を受けるかもしれません。講演の相談もOK！いかがでしょう。

『世界がわかる！ワークショップ体験』

1月11日(月・祝) 総合文化会館ミニシアター 13:00~15:15



主催 青年海外協力隊北海道OB会

協力 浦河町教育委員会、大黒座、

大黒座サポーターズクラブ、JICA(青年海外協力協会)



短い時間のゲームに参加するだけで世界を体験することができました。青年海外協力隊の活動発足50周年を記念して作られた『クロスロード』という映画が、大黒座さんで1月9日~29日まで上映されています。これに合わせた開催イベントの中のひとつでしたが、改めてもっと世界のことを知りたいと思えた良い機会でした。ありがとうございました！

楽しみながら勉強できた ワークショップ

正直なところ、ワークショップへの参加体験はちよつと気が重かったのです。でも、とても面白かった。リラックスしながら、楽しみながら勉強することができました。

昨年一月から浦河町地域おこし協力隊として活動している五十嵐早矢加さんは、自然に囲まれた生活を求めて一緒に移住したご主人の介さん共々、青年海外協力隊のOBです。二人が出会ったのは、派遣先のキルギス共和国(中央アジア)。それぞれバイオガスの普及のための調査や一村一品運動の展開などを二年間に渡り積み上げてきた経験の持ち主です。

この日は、札幌在住の青年海外協力隊OBの田中肇さん、大倉綾さん、そして五十嵐夫妻の四人から、それぞれの体験を聞かせていただきました。田中さんはウズベキスタン(中央アジア)で観光振興に取り組み、大倉さんはニジェール(西アフリカ)の学校で語学教育を担当されたそうです。若い方々から直接聞くことができた遠くの知らない国の話は、とても身近に感じることができて興味深かったです。

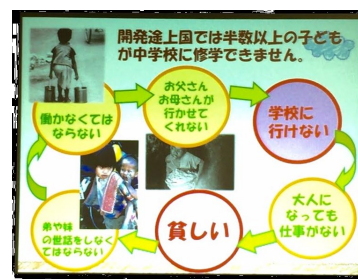


字が??? 勘で選んで見事に大外れ！なるほどこういうことかと体験できました。

「世界の人口は何億人ぐらいでしょうか?」「子ども、大人、老人の人口比はどのくらいだと思えますか?」「男の人と女の人、どちらが多いと思いますか?」「世界で一番、多くの人が話している言葉は何でしょうか?」

こんな質問を通じて、世界のことがわかる仕組みのワークショップでしたが、非識字率の高い国で実際に起きている悲しい事実も体験することができました。

非識字率が高いアフリカでは、読み書き出来ないお母さんが子どものために薬を買いに行つて、薬ではなく殺虫剤や毒を飲ませて子どもを死なせてしまうことがあるそうです。全くわからない文字が記載されたペットボトル3種が用意されていて、その中から薬を選ぶ模擬体験のゲームにはドキリさせられました。



誰もが学べる機会に恵まれていること。学校に行けることは当たり前のことではなく、幸せなことですね。

本物のクッキーを使って世界の富を分けてみる体験からは、世界の食事情も知ることができました。世界では一日に4~5万人の人が食べ物、飲み物が無いために命を落としているそうです。日本でも食べられない人が増えてきているという声が聞こえてきていますが、食べ物足りないのではありません。食べ物を集めて捨てている国があります。私たちの国です。

数年前の資料によると、年に5800万トンの食べ物を輸入して、1900万トン捨てているそうです。ちなみに世界での食糧援助は600万トン。とんでもない数量の食べ物を捨て続けていますが、私自身たくさん思い当たります。さて、どうしましょうか...

少しだけでも世界を知ることから、自分や自分たちの暮らしが見えて勉強になったワークショップ体験でした。

マックス

大黒座「クロスロード」上映 1月9日~29日



何でも聞ける♪特設！協力隊ブース 1月16日(土) 大黒座ロビーにて



えりも町から足を運ばれた石川さん親子。お父さんはポリビア(南米)、お兄ちゃんもキルギス共和国(中央アジア)、弟くんはプータン王国(南アジア)の民族衣装を試着体験♪

青年海外協力隊パネル展 1月9日~29日 浦河町立図書館



1階から地下の展示会場まで、たくさんのパネルが展示されています。図書館へどうぞ ^^

最近読んだ本の中より…



『ぼつとけよ 自己決定が世界を変える』 田原牧 著 (1962) 出版・ユビキタスタジオ

故宇井純氏(環境学者)はこう言った。
「展望があるとか無いとかにこだわる者もいる。でも、本当に必要に迫られ動くときには、展望なんて関係ない。同じことだが、一人でも闘えないかぎり、闘わないほうがいい。」

本文より

著者は現役の新聞記者です。ひとりで戦い続けているジャーナリストです。
何と闘っているのでしょうか？報道の自由を制限しようとする力と。パレスチナの悲惨を見て見ぬふりをする人たちと。寛容さを失っていく世の中と闘っているのだと思います。内容が多岐にわたるエッセイをまとめた本書から、わたしはそういうメッセージを受け取りました。

著者は長く中東に取材経験のあるジャーナリストです。わたしはイスラムについてほとんど知識が無いので、このところ少しずつ入門書を読んでいます。田原さんの本はなかでも分かりやすいです。本書でも少し中東についての記述がありますが、田原さんの『ジャスミンの残り香』(図書館にあります)と『中東民衆革命の真実』はおすすすめです。

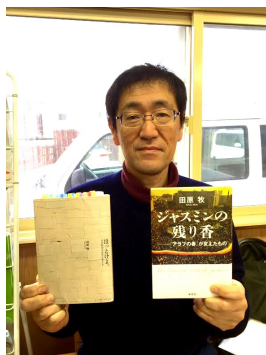
本書は10年少し前の本なのですが、すでに取材拒否や抗議が公的な団体や立場の者から現れ始めていることを報告しています。本文から引用しましょう。

中曽根康弘元首相とのインタビューのことだ。記事のトーンはおそらく、取材された本人の思想信条とは異なる。むしろ批判的といつてよい。しかし、言いがかりはつけない。それは政治家としての矜持と倫理によるものだろう。反対者とも対話は辞さないという自明のルールを彼らは踏まえていた。それが今は崩壊しつつある。

10年以上前にすでに現在を危惧していたんですね。本物のジャーナリストだと思いました。

わたしが面白いなと思ったのは、あるヤクザの組長に取材したときの話です。2000年代前半といえば、非正規雇用が急増し始め、正規社員のリストラも盛んに行われていた時代です。著者は内密でこのヤクザの親分に会います。ここまで組を大きくしたんだから、もうそろそろと言うと親分は真顔でこう答えます。

「辞めたくても辞められんです。若い者が何人も務めている。自分は彼らを待ってなきやいかん。リストラが恒常化している社会でこの言葉は新鮮に響いたと、著者は記しています。」



どちらの本も、浦河町立図書館から借りました。高価な本なので助かります。

社長

組織のためと言って、昨日までの仲間を路頭に迷わす。自分と考えるのがう者を徹底的に非難する。匿名で誹謗中傷をネット上にくり返す。そのような世の中を著者は「共喰い」という言葉で表現しています。自分が生き残ること、勝ち上がることに必死で同胞を思いやるゆとりが無い社会。そのことを教えてくれたのは、エジプトから来た青年でした。貧しい国から来た青年は、著者に「どうして日本の人は、お互いを恐れたような顔をしているんですか？」とたずねました。そう、喰い合っていれば他人は恐ろしい存在です。この「共喰い」という言葉はイヤな表現ですが、この不快さを胸に留めて生きていこうと思います。



もうひとつ 田原さんの伝えたいこと

「らしさ」の復権に抵抗する

「なにも恥じ入るものではないと信じます。」「職場の歓送迎会で50人ほどの同僚を前にそうカムアウト(告知)した。自分が性同一性障害と診断を受けていることだ。その声があんなふうと同僚たちへ届いたのかは、いまもわからない。ただ、会場が静まりかえって、自分の足が少しがくついていったことだけは覚えている。(本文より)」

田原牧さんの戸籍名は田原拓治。この名義でも執筆をしています。ネットで中東関連の検索をすると、田原という人物が二人出てきて少し不思議に思ったことがあります。理由がわかり、またカムアウトしたときの経緯などを記した本があることを知って、本書を読みました。

「カムアウトした瞬間、ああこれで終わりだな。早晚、職場を去ることを覚悟した」と田原さんは記しています。以前にゲイの同僚が辞めたとき、社内でも「あのオカマだろ」という声を聞いていました。

「男らしさ」「女らしさ」を他人にも過剰に求める人がときにあります。世の中にはそれ以上に「自分らしく」生きたい人がいて、それは認められるべきものです。本書にも書かれていますが、ナチスは同性愛者をドイツ民族らしくないと粛正しました。「ぼつとけよ」この300ページ以上の本で、これが一番著者の言いたいことでしょう。とても面白く読ませて頂いた一冊でした。



ガスを使っておいしくクッキング

しょうが角煮丼

またまた豚バラ肉の献立が登場～。しょうがもたくさん入り、調理の途中で脂をふき取るので意外とさっぱり味です。いつも食べているしょうゆ味の豚丼とも違うタイプのおいしい丼を、どうぞ新しいメニューに加えてください！



●材料（2人分）

豚バラ焼き肉用（厚めのもの） 300g
しょうが 千切り 1片分（約20g）
温かいご飯 茶碗2杯分
白いりごま 適量

煮汁

おろししょうが 大さじ2
おろしにんにく 小さじ1
砂糖 大さじ2
ナンプラー 大さじ1と1/2
水 2カップ
サラダ油 大さじ1



●作り方 レタスクラブ「プロのレシピ」より

- 1、フライパンに油大さじ1を熱し、豚肉を並べ入れる。出て来た脂をペーパータオルで拭き、途中上下を返しながらから2～3分、全体にこんがり焼き色がつくまで焼く。
- 2、鍋に煮汁の材料と1の肉を入れて約15分中火くらいで煮る。
- 3、肉がやわらかくなり煮汁もいい感じに仕上がったら、器にご飯を盛り、出来た肉を汁ごとのせて、しょうがのをせ白ごまを振ってできあがり。



この直前に、震度5弱の大きな地震が発生！！
取り急ぎみんなでこの写真を撮ったものの、社長とキョウちゃんの緊張した表情はそのせいです。

締め切りが迫っているマルセイニュース用のための試食ランチ。「うん！おいしいね！」と食べ始めたものの落ち着きません。全員大急ぎで食べてから、みんなで手分けしてお客様宅の安全点検に走り回りました。

とはいえ、オール3という★の数からもお分かりいただけるように、この『しょうが角煮丼』は本当におすすめです。にんにくもナンプラー（魚醤）もちよっと臭いがきついの、鼻が効くため強い臭いのものが苦手なばわふるさんは、終始「くさーい！」と叫んでいました。（笑）
でも、おいしい！と喜んでいたので良かったですね～。

しょうがは体を温めてくれますし、今の寒い季節におすすめの手軽な丼でした。

どうぞ、ガスでクッキングしてくださいね♪



フライパンひとつでできる 簡単でおいしい丼です！

試食した人	今日の料理は★いくつ？（最高得点 ★3個）
キョウちゃん (3.0)	★★★ 地震が来てびっくりしましたがおいしかったです
マックス (3.0)	★★★ 醤油味の角煮もおいしいけど、これも簡単に作れておいしいです。お父さん、頑張ってみて^^
ばわふる (3.0)	★★★ 今日は「豚バラ気分」だったし美味しかった！ 甘みも欲しいので、砂糖も入れてみようかな～
社長 (3.0)	★★★ これは、「しょうが」がいいね。

この日はマックスが作った中華スーブをめずらしく「おいしかった！」と褒めたばわふる。やったね、マックス^^



にんにくとしょうがのみじん切りをごま油で炒めて、香りがたってきたら水と酒（少々）を加えます。煮立ったら、中華だし、絹ごし豆腐、えのきを加えて煮ます。塩、お好みで醤油も少し入れて味を調え、水溶き片栗粉で少しだけとろみをつけて完成！食べる直前にネギを加えました。

こちらで体が温まりますよ～。



フライパンひとつでOK！
私で★★★ですから、みなさんも安心してチャレンジしてください。



社長のちよつと長いフィルム



『昨年見たアメリカ映画』

新年を迎えました。みなさん今年もよろしく願い申し上げます。

先月号で、昨年大黒座さんで観た映画ベスト3を書きました。大事な1本を忘れていました。『天才スピヴェット』。素敵な映画でした。アメリカの片田舎で暮らす風変わりな家族の物語です。スピヴェットが列車で家出するときの風景の美しいこと。モントナ州ってこんなにきれいなところなのか、行ってみたいなあと思いました。まさに映画館のスクリーンで観るべき映画でした。

昔からアメリカの地図を眺めるのが好きなのです。眺めていると、気持ちが高揚してくるのがわかります。アメリカ合衆国に行ってみたくいわけでもなく、行く可能性もすごく低いのですが地図を見るのは好きなんです。広い国ですが、街や土地の名前はけっこう知っていて、この映画の舞台はここか！とか、*の生まれたところってこんな山の中か、とか一人納得しながら地図を見ている。それが楽しいんです。

結局、昭和二十〜三十年代前半までに生まれた世代は、アメリカの文化と物質的豊かさへの憧れとともに育ってきたので、他国と比較すると圧倒的にアメリカの情報や頭の中に蓄えています。だから、わたしの様に地図だけ眺めていても想像で楽しむことができるわけです。今では日本にないがいろいろの文化に触れることが出来ます。食べ物も音楽も映画もあります。音楽のことで言えば、故中村とうようさんや故小泉文夫さんの功績も大きい

のでしようが、なんといつても日本が豊かになり、アメリカへの負い目が少なくなつて、他国へも目が行くようになったのかもしれません。

スピヴェット以外に昨年見た、3本のアメリカ映画について書きましょう。3本とも傑作です。

『レイチエルの結婚』。薬物中毒の女性が更正施設を出て、姉の結婚式に出席する2日間のお話。花婿である黒人の青年が、即興でニール・ヤングを歌う場面がすばらしい。「名も無き伝説」という大好きな歌です。図書館にDVDがあります。

『クラッシュ』。アメリカという国は人種の坩堝（るつぼ）。クラッシュとは激突という意味ですが、まさに人種間のヒリヒリする軋轢を描いた9・11以降に撮られた作品です。すごいやらしい人種差別主義者の白人警官が出てきます。2006年アカデミー賞の作品賞を獲っています。

『フー・カントリー』。これはすごい映画。非情な殺し屋の話です。タイトルの意味は「老人には住む場所がない国」。慈悲とか思いやりとかが一切入り込む余地が無い強者のみが存在できる国として、アメリカは描かれています。主人公はベトナム帰還兵とも推察できるのですが、戦場から帰って来た人間を抱える社会のきびしさ、恐ろしさをアメリカ映画はしばしば描きます。日本も帰還兵を抱える社会となっていくのでしょうか。

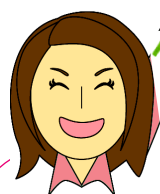
天才スピヴェットは大ヒットした映画「アメリカ」と同じ監督作品です。



(C)EPITHETE FILMS - TAPIOCA FILMS - FILMARTO - GAUMONT - FRANCE 2 CINEMA



さのばわふる日記



今年もよろしく
お願ひます

今年も元気に新年を迎えることが出来ました。健康で働けることに感謝し、今年もばわふるに頑張りたいと思います。

皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さてさて、新年のばわふる日記：

う〜ん何の話題もなく原稿を書き上げる事が出来ず困っていたら、うわ〜つ地震だ！

これって大きいかも！

いつもなら、砂地なので、揺れも小さい方ですが、今回は揺れが大きく、物も落ちました。

買ったばかりのサーキュレーターが棚の上から落ちるのが目に入り、救出に走りたかったのですが、動けないものです。

津波のことを考えて避難する対応のため、慌ててパソコンの電源を切り、いつでも持ち出せる用意。

ほんの僅かな時間に色々と考えたり咄嗟に動いたりますものですね。地震の多い浦河、しかもいつ起きるか分からない、怖いですね。

「備えあれば憂いなし」。

普段から色々な準備や心構えはしておかなくてはなりませんね。

あ〜新年早々、自分のおバカが出てしまいました。「備えあれば憂いなし」。

この言葉を書きたいのに、どの文字も浮かばず、目の前にいた社長に「何かの時のために準備しておいたほうがいいよ〜って何て言うんだっけ？」と聞くおバカな私。

もちろん社長は、すぐ答えてくれました。

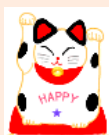
ネタがなく原稿を書けないでいたのを知っていた社長、よっぽど呆れたのか、「今の事を書いたらいいんじゃない？」ですって。はいはい、ネタにしましたよ。皆様、今年も楽しく大笑いしていただける話題を提供したいと思っております。

2016年。マルセイ同様、ばわふる日記も宜しくお願い申し上げます。

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

冬季期間（10月〜3月）定休日：日曜・祝祭日 営業時間 8:30〜6:00 土曜3:00



編集 おはなし家（マックス） 発行部数 3500部
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3
TEL 0146-22-5123